感染症対策

手や足、口の中などに発しんはありませんか？

手足口病

手足や口の中などに水疱を伴う複数の発しんが出る感染症です。発熱は発症した人の約３分の１で起こり、38度以下のことがほとんどです。多くの場合、数日間で自然に治りますが、まれに合併症を起こし、重症化することがあります。

感染してから数日後に2～3mmの水疱（発しん）がみられます。

流行時期

夏を中心に毎年発生します。2歳以下が半数を占めますが、小学生でも流行的発生がみられることがあります。

感染経路

飛沫感染、接触感染、糞口感染（便と一緒に排泄されたウイルスが口に入って**感**染すること）が知られており、特に乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などで注意が必要です。

治療方法

手足口病に特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法を行います。まれに重症化することがあるため、以下の症状がある場合は、医療機関への受診をご検討ください。

- ☐ 高熱が2日以上続く
- ☐ 嘔吐する
- ☐ 頭を痛がる
- ☐ 視線が合わない
- ☐ 呼びかけに答えない
- ☐ 呼吸が速くて息苦しそう
- ☐ 水分が取れずにおしっこがでない
- ☐ ぐったりとしている

受診を迷った場合や夜間・休日の場合は、「こどもの救急（http://kodomo-qq.jp/）」などのWebサイトを参照したり、「#8000（こども医療電話相談）」にご相談ください。

✓流水や石けんによる手洗いをしましょう。
✓タオルの共用を避けましょう。
✓排泄物の適切な処理を行いましょう。

手足口病は治った後も比較的長い期間、便と一緒にウイルスが排泄されます。
また、感染しても発病しないままウイルスを排泄する場合もあると考えられます。

手足口病について

厚生労働省